

◆teku-teku 2011★代官山インスタレーション2011(活動記録+評価集計結果)◆

企 画■代官山のまちづくりを歩き、インスタレーションを体験する

日 時■2011年10月29日(土) 14時頃～18時頃

コース■第一部：代官山ステキな街づくり協議会(代スキ会)の活動(14:00～15:30)

代官山駅～八幡通り～猿楽町～鉢山町～ヒルサイドテラス～奈良県 i スタジオ

休 憩：黄金食堂の出前による代官山食堂(奈良県 i スタジオ)(15:30～16:30)

第二部：代官山インスタレーション2011アートツアー(16:30～18:00)

A邸・都市の記憶～象徴的生活感～ヒルサイドFM～まんが農業～代官山ワードローブ

～都市に咲く花～代官山ピンボール～みちしるベプロプロジェクト～自転車、空へ

参加者■◎加藤仁美(第一部)+◎青木理恵(第二部)、青木伊知郎、井手幸人、上野朋子、大竹 亮、小川美由紀、

河原佳明、栗原 徹、桜井香織、重永真理子、杉村幸紘、田野裕美

(以上13名、敬称略、◎コーディネーター)

企画主旨■代官山は、緑豊かな環境の良い住宅地に高感度の店舗が並ぶ街ですが、開発への圧力が高まる中で、その街の魅力を守り伸ばすために、地域主導で様々な活動が取り組まれています。前半では、無秩序な開発から住環境を守るために、代官山ステキな街づくり協議会(代スキ会)によるまちづくりルールに基づく事業者との事前調整活動の成果と課題について、現地を歩いて回ります。後半は、都市とアートの新しい関係を目指す代官山インスタレーション2011の作品群を巡り、解説を伺いながら実体験します。その間に、代官山食堂のカフェランチで休憩します。代官山らしさとは何かを考えながら、それを守り育てるための方策について一緒に探ってみましょう。



八幡通りの町並みについて代スキ会の説明を聞く



奈良県 i スタジオの代官山食堂でカフェランチ

<参加者の意見・評価>

1◆代官山の街について(全体)

評価:4.56 内訳:AAAAAABB-

A:あまり広くない通りと、それによって高さが抑えられた建物が、ヒューマンスケールの空間をつくっており、それらの建物の低層部に導入された魅力的な店舗群と相俟って、とてもいい雰囲気をつくっている。

A:ヒューマンスケールな街並み、古いもの(建物)をむやみに捨てずに再利用し、カッコ良く仕上げる代官山センスをこれからも維持して欲しい。

A:代官山はマスタープランによってではなく、連鎖的な建築プロジェクトと相互触発作用によって独自の持ち味が形成された希有な街である。個々の建物が、街に対して、優しく品よく開かれている。そこでのアート作品は、小さいながらも効果的なまちづくりの仕掛けとなるだろう。

A:実際の買物や食事ができる商業施設があって利便性もありながら、個性的な店が住宅街に隠れるようにあって宝探し気分ですら自然と歩いてしまう、また土地にも高低差があるので、歩いて楽しい街だと思いました。

「代官山に行く」こと自体が出掛ける目的になる街だと思います。

A:都心の生活の場という気配が街全体から伺え(街並み、道行く人々など)、好感の抱ける街でした。

A:歩くと楽しいです。夕暮れは素敵でした。

B:東京で人気のある街をみると、元々は住宅地であったところが、商業地化したところが多い。吉祥寺、自由が丘、原宿、下北沢など。住宅と商業が混在するエリアがあり、そこがこうした街の魅力でもあると思うが、住宅地(地域住民)としても商業地(来街者)としても魅力的かどうか。

B:さらに落ち着いた「まち」になってきたなあという感じがしました。

2◆開発事業に対する代スキ会の活動について

評価:5.00 内訳:AAAAAA——

A: ガイドラインなどによる規制や反対運動などではなく、事業者との協議によって開発をコントロールしようとする活動は非常に興味深い。

A: 大変興味深い活動だと思います。代スキ会に活動が、いいまちづくりにどの様に活かされているかを地域にPRすることで、よりコミュニティまちづくり会としてのパワーがさらにアップするじゃないでしょうか。

A: 地元の人が自分の住む街を「ダイスキ」で、「話し合い」によって積極的に街づくりに関わろうとするその行動力・発信力がすばらしいと思いました。

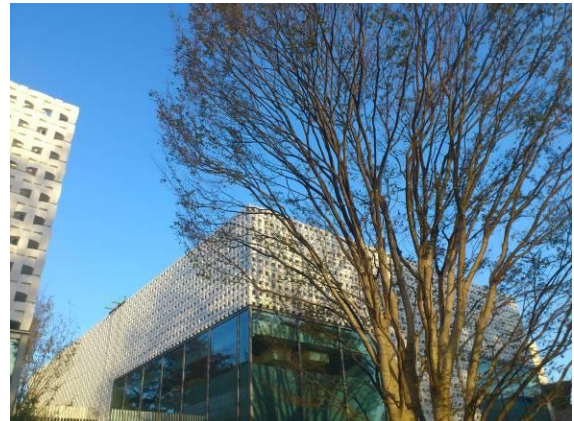
A: 地域の人たちと専門家が協力して、この街らしさを共通認識とし、事業者と協議する取り組みは非常にすばらしい。また、マンション計画などのハード面だけでなく、店舗営業と住民生活の調整というソフト面にまで携わっているのは感心した。渋谷区の条例に基づくとはいえ、法的強制力がないのに一定の効果を挙げている秘訣が知りたい。

A: 直接携わっている人の話を聞けるのはとても有意義だった。今後も活動を続けていただきたい。

一: 代官山地域の中での代スキ会の位置づけや活動内容がよく理解できていないので評価は見送ります。



超高層から中層に計画変更されたマンション



低層建築による新しい業態の商業施設

3◆奈良県 i スタジオと代官山食堂について

評価:3.20 内訳:AAABBBBBCC

A: 奈良県 i スタジオの中庭は、まちなかの大切な緑の場所です。今さらですが、取り壊し前に塀を取っ払ってまちに見せる期間が少しでもあれば良いですね。

A: 突然巻き込まれたので主旨がよくわからなかったが、黄金食堂の出前出店によって静かな中庭が活気あるコミュニケーションの場になった。空間の意味を変容させる魔法のような作品。いまどきあの中庭も貴重。

A (代官山食堂): 地域住民と来街者の接点が希薄なことがまちづくりの課題の一つと思うが、これは、まさに地域住民と来街者をつなぎ、コミュニティを活性化する仕掛けだと思う。

B (奈良県 i スタジオ): 代官山の中で重要な場所だと思うが、あまりうまく活用されてこなかったように感じる。一方、今回のようなイベントを行うにはとてもいい場所である。

B: 食を通じて様々な人たちとの交流を生み出そうとする試みは、なかなか面白い。

B: 中庭は都心にあってホットする空間です。残せないのが残念。代官山食堂は、よくわからなかったですが(魔法にかかったようでした)、楽しかった。



横浜・黄金食堂の出前による代官山食堂



緑ゆたかな奈良県 i スタジオの中庭

B：絶好の場所にあるのに、今まで気づかなかった建物でした。奈良県をPRするなら少々の奈良物産と雅楽のテーブルを流すだけではちょっと足りないのかなと感じます。そもそもPRが目的の建物ではなのかもしれませんが、奈良県の制約がなくなった後がどうなるのか。代スキ会の皆様の活動に期待しています。

C：建物の保存は果たして困難だったのでしょうか？ 食事のインスタレーション参加については興味深かったのですが。

C：まあまあおもしろかった

4◆代官山インスタレーション2011について

評価:4.11 内訳:AAAAABBBB—

A：代官山インスタレーションのアートは、単に鑑賞する対象としての作品ではなく、独自の機能を持って都市空間に働きかけ、その意味を変容させていることがすばらしい。

A：今回はまちにフィットした作品が多かった。

A：全体としては良かったと思います。ヒルサイドFMも面白いと思うし、自転車も良かったです。ただし、都市の中で設置するアート作品は、多くの人が不快に感じるものは排除すべきではないかとも思いました（建築も同じかも・・・）。

A：主催サイドおよび参加アーティストの解説付きという企画は、強力でした。

B：たのしかったです。作者の方の意図を聞くことで楽しさ倍増でした。

B：どの作品も非常に良くできていたと思うが、街に馴染みすぎていてアートとしてのインパクトが弱かったのが残念。

B：実に広範囲に展示されているためか、あまりに作品が街に溶け込んでいるためか、作品の展示に案内ただまで気づきませんでした。説明を伺って、街にアート作品を展示するというものの意味、様々な制約の中で作品の魅力を伝えることの難しさを考えさせられました。



朝倉邸を額縁に入れた「A邸〜都市の記憶」



階段下を利用した私室「象徴的生活感」

5◆代官山インスタレーション2011で印象に残った作品

A邸〜都市の記憶★今の代官山から過去の代官山を見せる意識的プロジェクト。歴史的時間の蓄積を額縁に入れて敬意を表する素晴らしさ！

A邸〜都市の記憶★黄色の枠が印象的でした。枠をつくることで空間が違ったものとなることを再認識しました。車窓からの景色、座って眺める庭、見る場所、見方でものは違った顔を見せますが、見て欲しい顔を自然と見せるひとつの方法を教えていただき気がします。

A邸〜都市の記憶★最初に見た時には、前にテントなどがあって印象に残りませんでした。アートツアーで見て回った時も車が邪魔という感じ。ところが、夜になると、障害物がなくなって、黄色いフレームに照明が当たり、とても綺麗だと思いました。でも、一番印象に残ったのは、朝です。朝倉邸の屋根には朝日が当たって陰影ができ、庭園の木々の緑も明るく輝きます。そして青空。この美しい風景が黄色いフレームで見事に切り取られています。これは素晴らしいと思いました。でも大半の人は朝の風景を見ていないのでは？ 会期が終わってすぐ撤去してしまうのがもったいないと思いました。

A邸〜都市の記憶★街の中に作品を置く意味が一番顕著にあったと思いました。

A邸〜都市の記憶★過去と今をつなぐ額縁と残してもらいたい。

A邸〜都市の記憶★大胆かつ美しい

象徴的生活感★都市における公と私について考えさせられた。人はみな理想の自己を演じているのだから、いつそここで「私生活のない暮らし」をするのもいいかも・・・。

ヒルサイドFM★通りに面して生放送のスタジオがあり、活気づいていた。まるではじめからこの場所にあったかのように、街や建物にフィットしていた。

ヒルサイドFM★設けた場所がポイント（放送と視線の交錯地点）。

まんが農業★雑誌を丸めて植物を植えていた。

まんが農業★まんが本から植物が生えるという発想がとてもユニーク。

まんが農業★漫画本でこんなことが出来るんだと感心しました。

代官山ワードローブ★当初の計画通り、入った人が中で着替えて出てくるという作品（？）であれば、過激にすばらしかったが。

自転車、空へ★空に向かう自転車。

自転車、空へ★すぐれたアイデア。

自転車、空へ★すばらしい作品だ。人々が日常の生活行動の中でアートに参加できる！人々が実際に使うことによってアートが完成する！しかも毎日異なる姿となる！日常的、実用的、偶発的、参加型の作品である。空に伸びゆくという想像力もいい。是非とも恒久的設置あるいは商品化を！

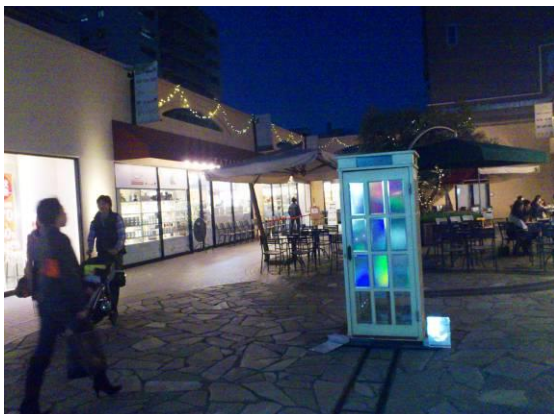
自転車、空へ★アートと実益を兼ね備えた作品だと思いました。



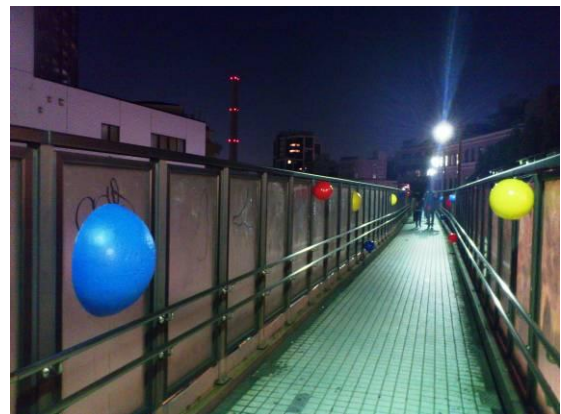
通りに面して街になじんだ「ヒルサイドFM」



ポケットパークを利用した「まんが農業」



商業施設中庭に現れた「代官山ワードローブ」



改札口からデッキへ続く「代官山ピンボール」



暫定緑地で実用性を兼ねた「自転車、空へ」



レストラン内にもある「代官山みちしるべ」

4 ■代官山の今後のまちづくりについての提案など

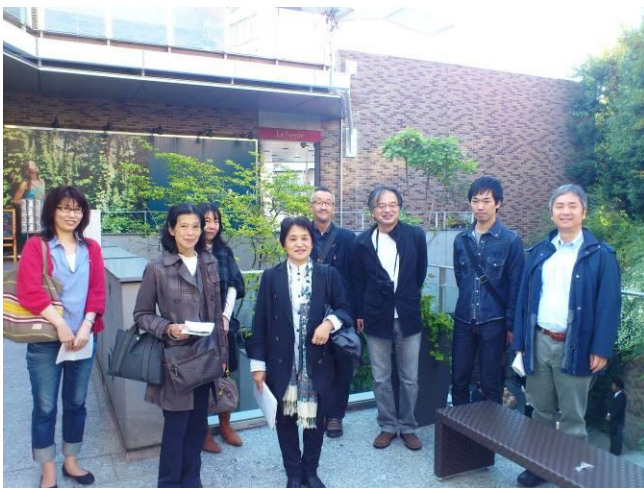
- 代スキ会の活動は素晴らしいが、それだけでは限界があるので、公的な位置付けを与えるなど、取り組みの明確化を図る必要があると思う。
- 代スキ会等のコントロールによって、落ち着いた大人のまちができていくのではないのでしょうか。
- （やや繰り返しますが）住宅と商業が混在する中で、魅力的な街が形成されてきたのだと思います。そこでは、地域住民と来街者の接点や共通意識が希薄なことが課題の一つであり、代スキ会も代官山インスタレーションもその関係性を構築してコミュニティの再生を図る役割を担ってきたように思います。まちづくりにはこうした長年の活動が重要と思いますが、一方、代官山食堂は、わずかな準備期間にもかかわらず、「地域の人々との出会いや関係性を通じたコミュニティの再生というまちづくりの役割」（代官山インスタレーションHP より引用）をストレートに実現していて、パワーを感じました。このような仕掛けをもっと増やして、街を面白くしながらコミュニティの再生を図っていければと思います。
- 代官山は、もともと良好な環境の住宅地であり、そこに高感度の商業施設が点在し、散策を楽しむことができるのが魅力である。街の人气が高まって商業化が進むと、本来の魅力が損なわれるおそれがある。代官山の活動は、代スキ会のような近隣紛争調整からインスタレーションのようなアートイベントまで幅広いが、多くの街の関係者が、街の魅力についての認識を共有し、様々な形でそれを守り伸ばしていってほしい。
- 代官山の街の価値を、地元の人たちがつくっている、守っている点が素晴らしいと思いました。商店が広がってきて住宅街に地元以外の人が歩きまわることを住宅街の人はどのように感じているのかなと思いました。

5 ■その他、今回の企画に対する感想など自由に

- 近年の開発の状況を見て話を聞き、代官山食堂で味わい交流し、代官山インスタレーションのアートを街とともに鑑賞することで、代官山という街を様々な観点から体験することができて、非常に面白かった。（T・K）
- 作家の方の話が聞けてとても楽しかったです。2年後また参加いたします。（Y・I）
- まち歩きという企画に初めて参加させていただきました。街を見て回ると様々な発見や気づきがあることを知り、今後こういった機会があればまた参加したいと思っております。ありがとうございました。（Y・S）
- この企画、継続していただければと思います。（M・O）
- 今後も面白い企画を楽しみにしています。都内だとうれしいです。。（K・S）

企画者より●代官山の街歩きは今まで何回も企画していますが、今回は、前半に代スキ会の活動現場を回り、後半にインスタレーションのアートツアー、その間に代官山食堂でカフェランチ、さらに終了後の交流会もアート参加のレストランで、というもりだくさんの企画でした。代スキ会の活動の広がりや成果について、現地で実物を見ながら苦労話も含めてお聞きできたのは貴重な機会でした。また、夕暮れからのインスタレーションのツアーは、作家の方による解説もあり、とても理解が深まりました。その間に差し挟まれた不思議な代官山食堂も、場面を転換するすてきな間奏曲でした。加藤さん、青木さん、ありがとうございます！（R・O）

※参加者の評価コメントの一部は、代官山インスタレーション2011公式報告書（2012/2）の「街の声」のページにも収録されました。



猿楽町の商業施設中庭にて



奈良県 i スタジオの代官山食堂にて